

2023年3月31日

中川物産株式会社と「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、中川物産株式会社（代表取締役 中川 秀信）は、本商品を発行いたしました。

当社は、1967年の創業以来、エネルギーの安定供給を通じ地域に必要とされる企業として成長するため、製品備蓄のためのオイルターミナル事業、安定的かつ競争力のある製品を確保・供給するための海外事業の展開、タイムリーな配送を目的とした陸運・海運事業への進出とその事業領域を変化・拡大してまいりました。

本 ESG 評価の取得を契機に、今後ますますエネルギー供給事業者として対応を求められる環境に配慮した製品の供給にも注力し、企業価値向上の取り組みの強化を図ってまいります。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ 各 ESG の要素を推進する部署として、環境改善に貢献する商品の販売担当部署として新エネルギー担当部室が、SS における環境を含めた設備保安については SS 事業部が、油槽所における環境を含めた設備保安については関連会社の丸中興産が担当しており、各担当部室を統括する経営層が関与した ESG 推進体制が構築されている。
- ✓ 環境面(E)では、バイオマス由来燃料の販売(E 3 ガソリン、HVO 軽油販売等)や天然ガス由来燃料の GTL 燃料の販売を国内で初めて商業ベースで開始し、重点施策として目標を設定され販売に取り組んでいる。GLT 軽油は、3年後までに約 130%増販を目指すほか、温室効果ガス削減効果の高い HVO 軽油は 5 年後には現在の軽油販売量の 5%を置き換えるべく増販することを計画している。
- ✓ 社会面(S)では、各種システム導入による業務効率化や、サービスステーションセルフ化による配置見直し、人員増強等を行い、会社全体の労働時間削減に取り組んでいる。また 36 協定及び経営会議で時間外の上限目標を立て、遵守状況を月一回、各部門長・役員が参加する安全衛生委員会で集計・確認している。
- ✓ ガバナンス面(G)では、取締役、および各部署、各グループ会社の責任者(部長)が参加する、経営会議を週次、月次で開催し、取締役レベルでリスク管理体制が構築されています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上